

公開参観日(6/4)校長講話から ~ 本年度重点目標へご協力を ~



444名の児童と32名の職員で新年度を迎えました。学校教育活動のすべてを予定通り進められることが、こんなにもありがたいと思う年はありません。

東日本大震災、長野県北部地震で被災された皆さんを思うと、子どもたちのよさをより伸ばすため、また、確かな学力をつけるため、今一

度気持ちを引き締め、取り組んでいかねばならないと、肝に銘じております。

職員も、子どもたちのために「まだできることがある」という心意気で、新たな教材を用意したり、地域の皆様のご協力を得る授業づくりをしたりと、昨年並みでない教育活動にあたっていると思っております。

本日は、本年度の重点について、考えをお話しさせていただきます。

学校目標「豊かな心を持ち たくましく生きる 屋代の子ども」は、「屋代小」と言っていないところに、私は注目しています。校歌も「屋代小学校」という歌詞はありません。締めくくりは「いよよ栄えん屋代町」です。

「屋代町という地を誇りに思う子を育てる」ことを願っている学校目標であり、校歌であると考えます。

目指す子どもの姿として「かしこく、心豊かに、たくましく」とあり、具体目標が右のようになっています。

私は、この具体目標の達成を評価するのは、「笑顔」だと思っています。明るくあいさつをかわせば、笑顔になる。だれとも仲よくすれば、笑顔いっぱいになる。ものを大事にすれば、笑顔になれる。最後までがんばれば、がんばれた自分・友

- |   |
|---|
| <p>1 明るくあいさつする<br/>「あかるく」「いつでも」「さきに」「つづけて」あいさつできる屋代の子ども</p> <p>2 だれとも仲よくする<br/>今の自分が好きになり、自分も友達も大切にできる屋代の子ども</p> <p>3 ものをだいじにする<br/>すべてのものの「命」に気づき、ものを大事にする屋代の子ども</p> <p>4 最後までがんばる<br/>何事にも挑戦する意欲をもち、ねばり強く最後までがんばる屋代の子ども</p> <p>5 本気で勉強する<br/>伝え合い、響き合い、学び合い、本気で勉強する屋代の子ども</p> |
|---|

達が笑顔になる。本気で勉強すれば、新しい知識・知恵が身につき、笑顔になれる。そこで、具体目標の評価は「笑顔」、合言葉を「笑顔いっぱいの屋代小」としてあります。

ちなみに、子どもたちの笑顔は、まずは、先生方の笑顔から始まると考えております。ですから、「笑顔いっぱいの屋代小」は、子どもも先生も同じ合言葉です。今日の授業は笑顔いっぱいだったでしょうか。

さて、今年重点目標 2 つが、どういう意味をもつかお話しします。

## 1 伝え合い、響き合い、学び合い、友達の名前がたくさん出てくる授業づくり に取り組んでいます。

授業の中で、友達の意見を聴いて「つけ足して」と言うだけでなく、「      さんの意見につけ足して」と発言したい。友達の意見を聴いて「同じです」と言うだけでなく、「      さんの意見と同じで、私も～のように考えました」、「少し違って」ではなく、「      さんの意見と少し私は違って、～」と言いたいと考えてみました。



1年：算数「いくつといくつ」

なぜ、友達の名前をつけた発言が大切かと言いますと、次の3点からです。

名前は、親や家族が、世界でたった一人の私のために一生懸命考えて、つけてくれた、大切な大切なもの。その名前を呼んで発言してくれることの心地よさがあります。

名前をつけて発言してくれたと言うことは、「私の意見をしっかり聴いてくれたのだ」との思いの実感につながります。どちらも必ず目を発言者に向けて、しっかり聴いているはず。周りの友達も、その意見をしっかり聞いていないと、自分の考えをつなげて発表することができません。

何回も自分の名前が授業の中で繰り返し出てくる、私の意見のよさを繰り返し言ってくれるという心地よさ。違う意見も、私の意見を生かして発言してくれている心地よさがあります。



2年：屋代を語る会の方々と「屋代カルタ」

おのずと先生が授業中に「集中しなさい」と言わなくても、授業に集中しないわけにはいきません。意見を言うと仲間がつなげてくれる。少し間違っても、発言したことが認められる。学級の雰囲気ができます。先生が「間違っ



てもいいから手を上げて」などという必要のない、居心地よい学級ができあがります。そうすると、自然と学ぶ意欲がわいてきます。そして、結果として、自分も持っている力を十分発揮し、学力が向上します。

昨日、出張された先生の代わりに、帰りの会に出たところ、「今日のありがとうの発表」という場面がありました。ありがとうのカードが5枚ありました。そのなかには、「担任の先生が出張だったけれど、先生、来てくれてありがとう」という内容のものがあり、補充に入った私の分もありました。思わずその発表者を見ながら「私の分もあるなんて、ありがとう」と声かけをしました。どちらも笑顔でした。こんな関係づくりから、まず、子どもたちのやる気を引き出し、学力向上に結びつけていければと思います。

## 2 地域の人と豊かにつながり、地域の歴史・文化や自然に学ぶ学校づくり を目指します。



3年：屋代の時間  
「旧本館見学のまとめ」

これまでも、屋代小では、どの学年も、学級も、地域の方を講師に招く授業がありました。今年はさらに増えてきています。本日も、お父さんやお母さん・地域の方の協力を得た授業が公開されました。また、外部の講師の方から直接お話を聴いて学ぶ授業もありました。

私は、これらの方々「豊かにつながりたい」との願いをもっています。つながりが深まると、どこかの「おばさん」を先生が連れてきて、話を聴いたのではなくなります。子どもたちの「おじさん、おばさん」という呼び方が、「さんから教えてもらった」となります。次に会ったときには、「こんにちは」のあいさつも、「さん、こんにちは。きのうはありがとうございました」とあいさつが交わせるようになります。かかわってくださる方々も、「この女の子・あの男の子」が、「さん、質問ありますか？」となり、次に会ったのなら、「さん、こんにちは。(前回は何かがあり、元気がなかったことを知っていたとすれば)よかった、今日は元気になったね」に変わってくるのではないかと思うのです。

そのためにまずは職員が地域に出て、地域の方とつながり、地域に学び、地域を理解したいと考えます。



4年：屋代の時間  
「身近な環境を考える」

昨年は屋代を語る会の皆さんのお花見会に、校長・教頭だけでなく、本校職員も何名か参加させていただきました。また、本年度の「屋代まちあるき」企画には、今年屋代小に転勤してきた先生が、また、授業で地域探検を計画している先生が、10人程参加させていただきました。



5年：屋代の時間  
「ヤギの小屋を作ろう」

地域の方に来ていただくことを待つのでなく、地域の中に出ていき、屋代の子の育ちを見ていただきたいと思います。

屋代保育園に出かけたり、豆腐作りを教えていただいたり、また、稲荷山養護学校や高齢者福祉施設と交流したりと、積極的に地域へと出ていきます。



6年：理科「だ液のはたらき」

1回のかかわりから、繰り返しかかわりへと、交流を何度も行うことで、つながりをより強くしていきたいと思ひます。

地域と豊かにつながり、学校・家庭・地域が一体となることで、屋代の子の育ちを支援していただくことを、これからもよろしくお願ひいたします。

## 大勢のご参観、ありがとうございました!!

1年生の学級には、稲荷山養護学校に通うお友達が交流に訪れてくれました。保育園までは、一緒に生活していた大切なお友達。これからも、ときどき屋代小学校に登校して、一緒に勉強をすることがあります。こうした交流からも、たくさん大切なことを学ぶことができると考えています。次回の交流を楽しみにしています。



1年：「なかよしゲーム」

### 公開参観にあわせて、第1回学校評議員会を開催しました!

学校評議員の皆様方（任期：平成23・24年度の2年間）

渡辺 英治 様（1区・自営業） 氏井 孝子 様（2区・民生児童委員）  
菅谷 啓美 様（3区・子ども見守り隊） 小林 一哲 様（4区・前PTA会長）  
中村 寛 様（5区・屋代公民館長） 大倉 順子 様（6区・少年補導委員）

学校・家庭・地域が連携し、子どもの健やかな成長を担っていくために、学校運営についてご意見をいただく方々です。学校長より学校運営の基本方針を説明し、家庭・地域の教育への願ひ等をお話いただきました。